

御堂筋の会

Midosuji no kai

私たちは、ミナミ御堂筋の沿道企業体です。

定例会 ニュース

(2021年1月)

「ミナミ御堂筋の会」は、ミナミの御堂筋沿道の不動産オーナーが連携し、「世界の御堂筋」をめざして、まちのあり方を提案し、実現に向けて働きかける団体です。

vol. 56

1. 側道閉鎖・社会実験 御堂筋チャレンジ2020

官民連携で御堂筋の未来をつくる社会実験「御堂筋チャレンジ2020」は、オープンカフェが中止となるなど、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けましたが、多数の視察やメディア取材もあり、ミナミ御堂筋は注目を集めました。今回の定例会では、御堂筋チャレンジ2020の実施内容・検証内容を事務局より報告するとともに、今後の動き等について協議しました。

1. 実施内容・検証内容の報告

側道閉鎖区間



- 12.12(土)~12.27(日) / 16日間
- 検証概要
 - ・ベンチの設置についての検証
 - ・ほこみち(※)区域指定検証
 - ・滞在空間としての利活用検証
 - ・サインの検証
 - ・違法看板・放置自転車対策の取り組み検証
 - ・側道閉鎖による道路交通等への影響検証(未完)

● 検証結果概要 抜粋



ベンチ設置の検証
(歩車分離・滞在空間の効果)

- ・分離サインを付したベンチで自転車通行空間の遵守率は高く、歩車分離の効果が高い
- ・一方、検証前と比べゴミの量が増加

※ ほこみち…歩行者利便増進道路のことで、にぎわいのある道路空間を構築するための指定制度。2020年11月25日施行。通称:ほこみち

ほこみち(※)区域指定検証

- ・有効幅員(4m)を確保すれば歩行通行に支障が少ない
- ・日常的にはオープンカフェのニーズが高い

滞在空間としての利活用

- ・新型コロナウイルスの影響でオープンカフェは中止。
- ・仮設でベンチ・テーブルを設置。収納先や管理の問題から、沿道1階店舗による出し入れが望ましい。(アイランド型利用)

モデル整備区間



- 11.28(土)~12.27(日) / 30日間
- 検証概要
 - ・密回避・回遊創出の取り組み検証
 - ・ほこみち(※)区域指定検証
 - ・滞在空間としての利活用検証
 - ・デジタルサイネージ検証
 - ・放置自転車対策の取り組み検証

● 検証結果概要 抜粋



密回避の取り組み

- ・屋外でのAIカメラによるソーシャルディスタンス測定の仕組み開発に目途
- ・空席情報可視化、OsakaPoint活用は、コロナ禍の影響で店舗への導入が困難だった

ほこみち(※)区域指定検証

- ・有効幅員(4m程度)を確保すれば歩行通行に支障が少ない
- ・特例区域へのはみ出しは側道閉鎖区間と比べ多い。照明灯やイチョウといった要素が影響か

駐輪抑制・シェアサイクル

- ・路上駐輪は減少したが、周辺一部で放置自転車が増加した
- ・シェアサイクルは高頻度で利用された。利便性・回遊性の向上について評価を得た

2. 沿道協議会の報告と今後の動き 道頓堀橋南詰~千日前通区間 / モデル区間の両協議会合同 現地見学会: 12/18、協議会: 1/15

12/18に社会実験の合同現地見学会を開催。1/15の合同協議会では、社会実験の結果や関係事業の状況を共有し、今後の動き等を協議。

■ **ベンチ設置について**
今回の社会実験はコロナ禍で人が少ない状況だった。ベンチのあり方は現時点で決めるのではなく、まずは路面整備を市に進めてもらい、その上でベンチを再度置いて社会実験・検証をしていく。

■ **ほこみち**
社会実験の検証結果を共有し、制度導入に向けた流れを確認。

■ **警察詰所の撤去 要望書を提出**
警察詰所はほぼ利用されておらず、その脇は不法駐輪の温床となっているため、撤去を要望する。撤去が困難な場合は、詰所への警察官常駐を希望。

3. 御堂筋チャレンジ協賛について (御堂筋イルミネーション バナー協賛は、前回ニュースを参照)

- サイネージの設置・協賛: 大日本印刷株式会社 (DNP) 様
- カメラ設置支援等: OsakaMetro 様
- サイネージの掲出: 戎橋筋商店街様、JTB 様
- バナーの共同掲出: 御堂筋まちづくりネットワーク様、御堂筋・長堀 21 世紀の会様

コカ・コーラボトラーズジャパン様より自販機設置拡大とともに協賛いただけるご提案があり、会員事業所等での設置など、会として協力していくことを確認。
※自販機の新規設置や切り替えをご検討の会員様は事務局までお知らせください。

意見

- コロナ禍で自転車が注目されている。自転車問題は、周辺の町会と御堂筋がより一層連携するための突破口になるはず。→これまで自転車は排除する方向だったが、自転車を通す戦略が必要かもしれない。次の将来像を描くチャンス。(事務局)
- サイネージの設置はとても良いと感じた。災害時の情報発信にも活用したい。

2. 次年度の活動計画について

道路協力団体としての活動（社会実験、まちなかウォーカブル推進事業）

「まちなかウォーカブル推進事業」は、車中心から人中心の空間に転換し、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の創出に向けて、歩行空間の拡大や公共空間の芝生化、民間用地を活用した公共空間の整備等を重点的に、国が支援する事業で、2020年度より創設されました。御堂筋における道路協力団体として、御堂筋まちづくりネットワーク様、御堂筋・長堀 21世紀の会様とも連携しながら、こういった制度も積極的に活用し、次年度も社会実験「御堂筋チャレンジ2021」として実施していくことを提案しました。



社会実験「御堂筋チャレンジ2021(仮称)」企画案

回遊性創出への取り組み

今年度は回遊性創出研究会を立ち上げ、意見交換や課題共有等を行いました。次年度は、「ミナミ御堂筋のスマート化」に取り組む予定です。

スマート化によるメインストリートの「アップデート」(スマートストリート)

一般社団法人への移行、部会の設置、ビジョンの改定

- 一般社団法人への移行の流れ、定款(案)の主な審議のポイント等を再確認しました。
 - 定款(案)の主な審議のポイント
 - 会員資格と会費、役員、組織・ガバナンス体制など
- また、会の次なる方向性を定める「部会」の設置について、事務局より提案しました。部会では、会員拡大など組織強化に向けた施策や、会としての次なる柱や事業等について検討したものを定時総会で提案し、「ミナミ御堂筋ビジョン2021」で打ち出すことを予定しています。
 - ※部会メンバーは、次の会を担う世代で構成することとし、自薦他薦は問いません。

3. その他情報提供、報告

(1)大日本印刷株式会社(DNP)様のご紹介 DNP 磯野様・杉山様より

御堂筋チャレンジ2020のデジタルサイネージは、DNP様には設置・協賛で多大なるご協力を賜りました。この定例会では、DNP様より、「御堂筋」という媒体が持つ可能性についてご説明いただきました。その中で、【“ヒト”が知りたい情報を“ヒト”が活動している場所で、最適な情報を届けるための“メディア”を創り、“すべてのヒト”が愉しめるロケーションを演出する】、【イエナカ・マチナカ・マナビバ・ミセナカの4面から公共空間等と連携する】というご提案をいただきました。



右写真：御堂筋チャレンジ2020のデジタルサイネージ

(2)その他

- 海外のメインストリートの事例として、新たに公開されたシャンゼリゼの道路空間再編イメージを紹介しました。車と人が共存するビジョンになっています。
- 御堂筋パーク・ストリート推進会議の活動状況について報告しました。
- 御堂筋姉妹ストリート協定 web 会議が開催予定です。(メルボルン、シカゴ)
- 御堂筋クリーンアップ作戦に事務局が参加しました。(12/21(月)9時～)



シャンゼリゼ道路空間再編イメージ CGムービーより <https://vimeo.com/390936231?ref=em-share>

定例会参加者オンライン開催(zoom)

【正会員】三輪・湯川(三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社)、加賀(七宝山大福院三津寺)、高橋・福崎(株式会社スポーツツカハシ)、池田(有限会社泉屋)、真鍋(平川商事株式会社)、奥谷(株式会社三栄建設)、富永(三信株式会社)、藤丸(光明興業株式会社)、吉田(株式会社ベルコ)

【賛助会員】島田(東京建物不動産販売株式会社)、武村(コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社)

【オブザーバー】磯野・今井・大窪・杉山(大日本印刷株式会社)、福地(ミナミまち育てネットワーク)

【事務局】中塚・絹原・竹林(株式会社地域計画建築研究所(アルパック))

次回定例会のお知らせ **2021年2月22日(月)16:00～** オンライン もしくは 難波御堂筋ホール

(道路空間再編・組織の検討について協議するほか、**CBRE様より不動産状況についてご紹介いただく予定です**)